

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度第5回朝霞第四中学校学校運営協議会	
開催日時	令和7年3月28日（金） 午後2時30分から午後4時00分まで	
開催場所	朝霞第四中学校 2階校長室	
出席者及び欠席者の職・氏名	出席者 9名 野本文子委員 有本聖子委員 久住 毅委員 石川俊三委員 田中 誠委員 杉田鮎美委員 山崎幸治委員 須田晃弘委員 太田禎治校長 欠席者 1名 角地直義委員 事務局 1名 岩崎良紀（朝霞第四中学校教頭）	
議題	1. 校長あいさつ 2. 令和6年度学校の様子 ※学校評価結果を踏まえて 3. 生徒の様子 ※不登校・いじめ問題を含めて 4. 令和7年度学校経営方針 5. 委員の異動にともなう退任について	
会議資料	・会議次第 ・令和6年度朝霞第四中学校学校評価（共通項目）評価書 ・進路だより（3月21日号） ・令和7年度 学校経営方針 ・令和7年度 グランドデザイン ・中学校生徒指導担当教師に係る加配教員の配置要項 ・令和7年度 第49回入学式のご案内	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☒ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☐ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法：副委員長による確認	
傍聴者の数	傍聴者 0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【意見交換・熟議】

（校長）

・学校関係者評価では、教職員の自己評価よりも多くの項目でA評価をいただいた。特に「規律のある態度の育成」では、学校外の地域での生徒たちの様子も見てもらって評価いただいた点には感謝している。

（委員）

・学校評価に関しては、学年末の最後の出来上がりの場面だけでなく、これまで1年間の途中経過もしっかりと判断していくべき。

・基礎学力の定着に関しては、小学校からの積み重ねの部分もあるが、学力格差があることは事実。学力低位の生徒の学びの保障をどのように進めていくのか。

（校長）

・様々な理由からクラスで授業を受けられない生徒を、本校さわやか相談室で多く受け入れているが、学習の保障という点に関しては、課題が多い。令和7年度は埼玉県の中学校生徒指導担当教師に係る加配教員を配置していただき、学習室での取組を充実させ、一人一人に寄り添える教育を展開していく。

（委員）

・さわやか相談室で過ごす生徒の様子はどうか。

（校長）

・さわやか相談室に登校している生徒の多くは、何かしらの悩みを抱え、何とか登校している生徒も多い。相談室での過ごし方も、通常のクラスでの過ごし方よりも甘いといわれる点もわかるが、しっかりと寄り添い、一人一人の生徒にとって、適切な支援を行っていく。

（委員）

・相談室での過ごし方が教室よりゆるやか（甘い）となると、他の生徒からの不公平感という点で課題はないか。

（校長）

・不公平感を抱かせないように、丁寧に個別に対応している点を周囲にはしっかりと理解させたい。

（委員）

・様々な事情を抱えた生徒の対応は、個別に対応することが多く、他の生徒との関係を考えると校長としては、モヤモヤすることもあるのではないか。

・そのモヤモヤを払拭するためにも、学校運営協議会委員として校長（学校）と連携を強化していきたい。

（委員）

・令和7年度学校経営方針の大きな柱の一つに総合的な学習の朝のモジュールによる学習があるが、具体的にはどのように進めていく予定なのか。

（校長）

・1単位時間の50分を10分×5コマに分割して、毎日朝の一番はじめ（1時間目の前）に設定する。全校での取組（総合的な学習の時間）なので、内容によっては、学年の枠も取り払って生徒たちの興味関心に合わせて探求を進められるようにする。

(委員)

・毎日10分という非常に短い時間の実施であるが、授業時数(時間)として足りていますか。また、朝霞市で取り組んでいる「子ども大学」の取組をイメージして探求を深めていけたらよいのではないかと。

(校長)

・昨年度、教育委員会教育指導課が視察に行ったように、「しぶや未来科」のようになれば良いと思う。現実的には難しいかもしれないが、工夫していく。

具体的には必要ならば金曜日の6時間目の枠をつかって、まとめどりのような形式も検討していく。

・令和7年度の目指す学校像については、前年度と同様に「生き生きと学び 夢と希望を胸に 感動を実感できる学校」としました。令和7年度は、令和元年以来参加していなかった彩夏祭の鳴子に「朝霞四中 鳴子 櫂」として復活参加することになっている。4月以降参加希望生徒を募り、練習を地元鳴子チームに依頼し、教職員の負担も減らしつつ、参加できる体制をつくっていく。今回演舞指導に地元チームが名乗りを上げてくれたことには大変感謝している。

(副委員長)

・太田校長より令和7年度学校経営方針について、資料等をもとに説明があったが、本学校運営協議会として承認してよろしいかと。

(委員)

・意義なしとの意見多数。よって承認されました。

(事務局)

・3月末の人事異動等に伴い、任期の途中ではありますが、朝霞高校久住毅委員・朝霞八小田中誠委員、朝霞四中父母と先生の会会長杉田鮎美委員の3名が今回の会議を最後に退任されますので紹介します。

なお、後任につきましては、朝霞高校伊藤孝人校長、朝霞八小岩崎英雄校長、父母と先生の会山田会長がそれぞれ就任される予定です。委員の任命は教育委員会定例会での承認を経てとなります。